

1998～99年

年 次 報 告

平成10年～平成11年度



横浜緑ロータリークラブ

ロータリーの夢を 追い続けよう



1998～1999年度R.I会長
ジェームス L. レイシー



第2590地区ガバナー
横浜緑ロータリークラブ会長

大須賀 洋
脇田 幸一

目 次

会 長 報 告	1
幹 事 報 告	3
活 動 報 告 書	8
理 事 会 議 事 録	10
総 会 議 事 録	17
S. A. A 報 告	18
クラブ奉仕委員会報告	19
出席委員会報告	19
職業分類委員会報告	22
親睦活動委員会報告	22
雑誌委員会報告	25
会報委員会報告	25
会員選考委員会報告	26
会員増強委員会報告	26
プログラム委員会報告	27
ロータリー情報委員会報告	30
広報委員会報告	30
社会奉仕委員会報告	30
青少年奉仕委員会報告	31
青少年委員会報告	31
インターアクト委員会報告	31
ローターアクト委員会報告	33
職業奉仕委員会報告	33
国際奉仕委員会報告	34
世界社会奉仕委員会報告	34
ロータリー財団委員会報告	35
米山奨学委員会報告	36
会 計 報 告	38
横浜緑ロータリークラブ組織表	40
備 品 目 録	41
充填・未充填職業分類表	42

会 長 報 告

会 長 脇 田 幸 一

第 1395 回の例会から第 1442 回の例会までの私が会長を務めさせていただきました。この一年間は、役員の皆さん、すなわち、副会長の遠藤さん、森 宏さん、幹事の市瀬さん、S.A.A の須藤さん、長根さん、浜田さん、会計の村松さん、それから理事の皆さん、及び各委員会の委員長さん、会員の皆さんのおかげで、なんとか無事にこの横浜緑ロータリークラブを運営できましたことは私の何よりの喜びでした。厚く御礼申し上げます。

ジェームス レイシー R.I.会長の示された 1998～1999 年度のテーマは「ロータリーの夢を追い続けよう」すなわち他人に対する思いやりの心を実践に移すこと、すなわち奉仕活動をよりいっそう盛んに行うように、というように私は解釈いたしました。

クラブに対する奉仕の第一は、クラブの増強でした。しかし、残念ながら今年度は新会員を迎えることはできませんでした。増強どころか、名倉会員の名誉会員就任、田中会員、斉藤宏一会員の退会、関口、黒沼両会員の身分終結がありまして、会員数は年度末で 5 名減の 43 名となってしまいました。残念なことで私の努力が足りなかったことをお詫びいたします。それにしても増強委員会の山下委員長、はじめ有志の会員を含めて増強委員の皆さん、ありがとうございました。

社会奉仕の部門にあっては、大地委員長のおかげで、バザーその他の奉仕活動も活発に行われましたが、私の指導力の不足もあって、具体的な実績を上げることができませんでした。次年度への継年事業としてその予算を森宏さん、北原社会奉仕委員長に引き継いでいただきたいと思います。

次世代奉仕の部門については、川渕さん、浜田さん、小林さんのおかげで、R.Y.L.A.への活発な参加によって、その実績を上げる事ができましたが、ローターアクト、インターアクトの活動への参加について私の申請の方法に誤りの所為で R.I.会長賞受賞を逃してしまいました。申しわけなく思っております。

職業奉仕については、通常の職場見学のほかに四国の岡本さんの工場に親睦を兼ねた職場見学が森 一誠委員長のおかげで行われ、個人的にも大変有意義なそして楽しいイベントであったと思われます。

国際奉仕部門では G.S.E.のホストを私が入会以来おそらく初めてですが、

わが横浜緑ロータリークラブが務めました。ホストは市瀬さん、高嶋さん、それに私の3人で、期間もわずか3日間でしたが、なかなか有意義で楽しい経験をいたしました。

ロータリー財団については、年度はじめに二人のベネファクター、一人当たり120\$という要請を地区から示されていました。ベネファクターについては財団委員長の藤津さんと私、それに森善助さんのマルチプルベネファクターで地区からの要請に答えることができましたが、一人当たり120\$は達成できませんでした。現在のところ、長期欠席の会員が多いので、仕方がなかったと思われます。

米山奨学金についても同様に長期欠席の会員が多いので、一人当たり¥20,000.-という地区からの要請は達成できませんでした。総額は¥640,000.-と多額で通常の例会出席者数から勘案すると、一人当たり¥20,000.-というのは達成されていると思われます。

わが横浜緑ロータリークラブの30周年事業が行われます。三澤実行委員長のもと、既にその準備も着々と進行中です。

ジェームス レイシー R.I.会長の示された1998～1999年度のロータリーのテーマを大須賀 洋ガバナーから要請されながらも、実行力が足らず十分に達成できなかった私を最後まで温かく支援して助けてくださいました役員、各委員長、それから会員の皆さんに厚くお礼を申し上げて会長の報告といたします。

幹 事 報 告

幹 事 市 瀬 栄 一
副幹事 鶴 岡 武

クラブの概況

名 称 横浜緑ロータリークラブ
地 域 横浜市 緑区、青葉区、都筑区

総人口 世帯数

緑 区	153,063 名	56,759 世帯	(平成 11 年 6 月 1 日現在)
青葉区	263,757 名	99,750 世帯	(平成 11 年 6 月 1 日現在)
都筑区	145,970 名	51,787 世帯	(平成 11 年 6 月 1 日現在)

事 務 局 〒226-0011 横浜市緑区中山町 230 横浜銀行中山支店内
TEL・FAX 933-1651(直通)

例 会 場 同 上

例会日時 毎週水曜日 12 時 30 分～13 時 30 分

設 立 昭和 45 年 2 月 28 日 (スポンサークラブ横浜港北 R C)

昭和 45 年 3 月 11 日 R I の正式加盟承認

特別代表 山 崎 卯 一

昭和 45 年 12 月 13 日 認証状伝達式 4 クラブ合同

(於 横浜文化体育館)

昭和 53 年 5 月 27 日 横浜田園 R C 創立総会

(於 三井銀行青葉台支店)(移籍会員 4 名)

昭和 52 年 11 月 23 日 桐蔭学園高校インターアクトクラブ 認証状伝達式

(於 桐蔭学園)

昭和 55 年 11 月 23 日 桐蔭学園高専ローターアクトクラブ 設立総会

(於 桐蔭学園)

昭和 59 年 3 月 27 日 横浜たま R C 創立総会

(於 和光証券) (移籍会員 5 名)

平成 3 年 5 月 28 日 新横浜 R C 創立総会

(於 新横浜国際ホテル) (移籍会員 0 名)

付 記 所属地区は当初第 359 地区、昭和 49 年 7 月 第 359 地区より山梨県・静岡県を区域とする 第 362 地区が分割され、当地区は神奈川県 1 県となりました。

昭和 52 年 7 月より R I の地区変更により 第 259 地区となりました。

平成 3 年 7 月より R I の地区変更により 第 2590 地区となりました。

1. 会 員 (平成 11 年 6 月 30 日現在)

(1) 会員の種類

正 会 員	27 名	名誉会員	1 名
アディショナル会員	0 名		
シニア・アクティブ会員	16 名		
計	43 名	(内 チャーターメンバー	3 名)

(2) 年 令 (平成 11 年 6 月 30 日現在)

30 才～39 才	2 名	40 才～49 才	6 名
50 才～59 才	12 名	60 才～69 才	11 名
70 才以上	11 名	80 才以上	1 名
最高 80 才	最年少 34 才	平均	60 才

(3) 現会員で当クラブ会員としての在籍期間

1 年未満	0 名		
1 ～ 3 年	15 名		
4 ～ 6 年	8 名		
7 ～ 9 年	7 名		
10 年以上	13 名	平 均	9.8 年

2. 例会来客数

例 会 数	47 回		
来 客 数	ビジター 7 名	ゲスト 49 名	計 56 名

月	例回数	ビジター	ゲスト	月	例回数	ビジター	ゲスト
7	4	0	4	1	4	0	2
8	3	0	8	2	4	1	5
9	4	1	5	3	5	0	1
10	4	1	3	4	4	1	4
11	4	2	8	5	3	0	1
12	3	1	4	6	5	0	4
小計	22	5	32	小計	25	2	17
例回数	47	ビジター	7	ゲスト	49	計	56 名
				累計		3,686 人	

[入 会 者] 0人

[退 会 者]

田 中 亮 二 君	平成 10 年 10 月 31 日	職 務 上
名 倉 健 二 君	平成 10 年 12 月 31 日	名誉会員へ移行
斉 藤 宏 一 君	平成 11 年 06 月 30 日	健 康 上
黒 沼 正 雄 君	平成 11 年 06 月 30 日	職 務 上
関 口 将 実 君	平成 11 年 06 月 30 日	職 務 上

[歴代会長・幹事及び会員数・出席率]

	会 長	幹 事	就 任 時 在籍会員数	年 間 出席率	備 考
創 立 時	石 川 治 道	柴 田 清	24 名	92.86%	45 年 6 月迄
昭和 45～46	石 川 治 道	柴 田 清	24 名	98.58%	
昭和 46～47	秋 田 茂	三 澤 君 夫	41 名	98.09%	
昭和 47～48	小 林 安 雄	高 橋 正 文	40 名	94.29%	
昭和 48～49	加 藤 雅 光	名 倉 健 二	37 名	97.40%	
昭和 49～50	鵜 川 昇	山 下 栄 蔵	39 名	97.67%	
昭和 50～51	名 倉 健 二	武 藤 松 一	42 名	97.38%	
昭和 51～52	中 山 恒三郎	岩 沢 幸 男	47 名	98.60%	
昭和 52～53	三 澤 君 夫	岡 本 健	48 名	98.82%	
昭和 53～54	森 善 助	浜 田 勝 弥	47 名	98.57%	
昭和 54～55	山 下 栄 蔵	戸 田 裕 也	50 名	98.74%	
昭和 55～56	岡 本 健	代々木 和 男	45 名	99.33%	
昭和 56～57	岩 沢 幸 男	中 林 靖	50 名	99.18%	
昭和 57～58	田 辺 政 雄	内 野 晃	48 名	99.11%	
昭和 58～59	武 藤 松 一	渡 辺 武	50 名	97.86%	
昭和 59～60	戸 田 裕 也	寺 崎 誠 三	45 名	96.31%	
昭和 60～61	田 沼 文 衛	岩 岡 正	45 名	96.27%	
昭和 61～62	中 林 靖	赤 柄 忠 昭	50 名	97.83%	
昭和 62～63	内 野 晃	藪 島 五 郎	51 名	96.96%	
昭和 63～64	代々木 和 男	遠 藤 真 作	53 名	95.65%	
平成 01～02	藪 島 五 郎	幸 内 伸 雄	47 名	94.68%	

平成 02～03	近 藤 襄	渡 辺 宏 末	50 名	94.50%
平成 03～04	幸 内 伸 雄	横 井 好 明	51 名	91.92%
平成 04～05	遠 藤 真 作	日 高 信 良	46 名	91.91%
平成 05～06	横 井 好 明	遠 藤 一 典	45 名	92.46%
平成 06～07	渡 辺 宏 末	井 上 周 輔	47 名	93.81%
	横 井 好 明			
平成 07～08	中 林 靖	脇 田 幸 一	43 名	92.70%
平成 08～09	小 林 新 一	金 子 朝 夫	43 名	95.30%
平成 09～10	遠 藤 一 典	森 宏	43 名	95.40%
平成 10～11	脇 田 幸 一	市 瀬 栄 一	48 名	93.00%

[チャーターメンバー] 現会員 2名

秋 田 茂	昭 55.02.20 死去
石 川 治 道	昭 52.06.30 退会
岩 崎 董 正	昭 57.06.30 退会
小 林 安 雄	平 07.06.30 退会
小 峰 政 博	昭 48.10.20 退会
	相模原南R Cへ
中 山 恒三郎	昭 60.04.24 退会
柴 田 清	昭 48.04.04 退会
鈴 木 憲 一	昭 54.09.01 死去
土志田 昭 吉	昭 54.08.29 退会
岡 本 健	
志 田 宝	昭 47.01.29 退会
高 橋 正 文	昭 50.06.26 退会

名誉会員 1名

足 立 英 一	昭 46.09.01 退会
麻 生 和 衛	昭 54.12.26 退会
藤 森 茂	昭 47.04.05 退会
浜 田 淳太郎	昭 48.01.31 退会
細 辻 文 次	昭 47.06.28 退会
岩 本 正 三	昭 63.07.11 死去
松 田 三 郎	昭 47.06.07 退会
三 橋 英 一	平 04.03.21 死去
名 倉 健 二	平 10.12.30 名誉会員
富 永 力	平 01.12.30 退会
鵜 川 昇	
吉 田 晴太郎	昭 48.05.02 退会

[本年度地区役員]

鵜 川 昇 君	地区諮問委員会
鵜 川 昇 君	地区指名委員会
須 藤 保 夫 君	地区ローターアクト委員会

〔地区大会表彰〕

(新 マ ル チ ブ ル)

森 善 助 君

(新ベネファクター)

藤 津 均 君 脇 田 幸 一 君

(米 山 功 労 者)

脇 田 幸 一 君

第20回目米山功労クラブ

活 動 報 告 書

幹 事 市 瀬 栄 一
副幹事 鶴 岡 武

幹事という大役をお引き受けすることになり、地区協議会をスタートにさて何から始めたら良いか考える暇もなく、色々な実務に押し流されて、あっという間に一年が過ぎてしまいました。

年次報告書をまとめるに当たり、地区協議会の分科会での幹事部門の資料に目を通しました。一年前の時は内容を十分理解できませんでしたが、一年間幹事をやらせていただき、改めて目を通してみますと良く理解できます。

「幹事とはクラブに於いて会長に協力し、クラブの運営を助けて行く。また、会長の陰の力となって補助する。」のが幹事の役目であると書かれてありました。しかし、会長を補助するどころか会長に助けられた一年でした。

幹事はクラブの中心であり、クラブ運営の全てに責任があると言われていますが、会員は全て平等の権利を持っています。会社の経営と違い、権限はないが責任はとらなくてはならない立場にあります。クラブ内で、もめ事があっても命令はできず、話し合いで理解していただくしか方法がありません。この事が難しくもあり、また、今までに無い経験をし、勉強となりました。

今年の活動計画書に掲げた目標は、親睦を通じて活力あるクラブにする事でした。しかし、思った事の半分も実行できなかった気がします。

※親睦を第一義として出席する事が楽しみなクラブにする

- ・欠席の場合、届けをするようお願いしましたが、まだ無断欠席者がいます。
- ・クラブ活動に協力的でない会員をお願いしてきましたが、命令はできず、理解していただくしか方法がないためなかなか思い通りには行きませんでした。
- ・会員の卓話が少なく、お互いに深く知り合う機会がもう一歩でした。
- ・親睦会には例年になく出席者が多く楽しくやれたと思います。

※職業を通じてお互いを知り合う

- ・色々な職業があるので仕事でお互いに結び付くことはなかなか難しいが、私事で恐縮ですが、多くの会員から仕事をさせていただき、深く知り合う機会を得たことは私にとっては素晴らしいことでした。

・お互いの職業を知り合う機会をもっと作るべきでした。

※会員増強

・会員の推薦者に対して、会長共々働きかけたが新会員は一人も確保できませんでした。会長の決断で毎年問題とされてきた長期欠席の二名の会員に退会勧告をしました。結果的に会員は減少しましたが、今後のクラブ運営はやりやすくなったと思います。しかし、会員増強できなかったことは、幹事として一番残念なことです。

幹事の尊い経験を生かしてこれからのクラブ運営にお役に立ちたいと思っております。会長はじめ各委員長及び会員各位のご協力に感謝致します。特に事務職員の瀬島さんにはお世話になりました。

会長・幹事会	7月23日(木)	横浜スポーツマンクラブ
	10月21日(水)	プラザ・サウスウエスト
	4月27日(火)	ホテル パストラル
ローターアクト	11月15日(日)	第29回 年次大会
	5月30日(日)	第29回 地区協議会
インターアクト	11月22日(日)	インターアクト年次大会
I・M	11月14日(土)	I・M 全体会議
	1月22日(金)	I・M 全体会議
	2月13日(土)	I・M 横浜そごう 新都市ホール
認証状伝達式	5月28日(金)	横浜本牧R・C
	6月 9日(水)	横浜金沢みどりR・C
地区大会	4月17日(土)	パシフィコ横浜
	4月18日(日)	パシフィコ横浜
GSE	4月23日(月)	GSE打合会

理 事 会 議 事 録

第1回 理 事 会

1. 日 時 平成10年7月1日 13時30分より
2. 場 所 例会場
3. 理 事 遠藤一典、大地哲郎、斎藤清紀、高嶋経保、長沼 博、森 宏
森 一誠、山下栄蔵 (あいうえお順)

会 長 脇田幸一

S A A 須藤保夫

会 計 村松勇治

副幹事 鶴岡 武

4. 議 題

1. ガバナー訪問日の食事の件について
2. 食事の予定について
 - 1 週－寿司屋、2 週－パストラル、3 週－寿司屋、4 週－京樽
3. 本年度の予算について再検討事項 各委員会で再検討
 - ①食事代の工夫
 - ②インターアクト、ローターアクトの予算の使い道をはっきりさせる
 - ③社会奉仕の予算はバザーの売上金で賄う
 - ④親睦費用－内容を再検討する(お金をかけない方法)
 - ⑤会報の費用－原稿があれば1回1万円安くなる
4. 前年度親睦委員会会計決算報告
5. 理事会に於いて3ヶ月に1回その時点の会計経過報告をすること
6. 親睦委員会、社会奉仕委員会等で集めた臨時会費の集計は、その都度一括して会計に報告する。なお、明細は担当部所で報告すること。

第2回 理 事 会

1. 日 時 平成10年8月5日 13時30分より
2. 場 所 例会場
3. 理 事 遠藤一典、大地哲郎、高嶋経保、長沼 博、森 宏
森 一誠、山下栄蔵 (あいうえお順)

会 長 脇田幸一

S A A 須藤保夫

幹 事 市瀬栄一

4. 議 題

1. 長期欠席会員の扱いについて
幹事に一任する
2. 欠席届について
S A A と出席委員長で打ち合せする
3. 出席規定について
規定緩和の説明、会長より
4. 名倉健二会員が名誉会員として理事会で承認される

第3回 理 事 会

1. 日 時 平成10年9月2日 13時30分より
2. 場 所 例会場
3. 理 事 遠藤一典、大地哲郎、斎藤清紀、高嶋経保、長沼 博、森 宏
森 一誠、山下栄蔵 (あいうえお順)

会 長 脇田幸一

S A A 須藤保夫

会 計 村松勇治

幹 事 市瀬栄一

4. 議 題

1. 出席免除会員の確認
2. 長欠者の出席の数え方
3. 無届欠席者の扱い
4. その他

① 30周年記念式典積立金について

第4回 理 事 会

1. 日 時 平成10年10月7日 13時30分より
2. 場 所 例会場
3. 理 事 遠藤一典、大地哲郎、長沼 博
森 一誠、山下栄蔵 (あいうえお順)

会 長 脇田幸一

S A A 須藤保夫

会 計 村松勇治

幹 事 市瀬栄一

4. 議 題

1. 田中会員長欠について
2. 30 周年積立金増額について
3. 米山第Ⅱ記念館建設資金募集について
4. 年次報告作成書について

第5回 理 事 会

1. 日 時 平成10年11月4日 13時30分より
2. 場 所 例会場
3. 理 事 大地哲郎、斎藤清紀、長沼 博、森 宏
山下栄蔵 (あいうえお順)

会 長 脇田幸一

S A A 須藤保夫

会 計 村松勇治

幹 事 市瀬栄一

4. 議 題

1. 韓国 R.C との交流計画の進行状況について
2. 前回の理事会で保留となりました「米山記念館建設資金」募金について
3. 中国からの日本語教師 3 名来日に対して助成金 1 人 500 円集金の件
4. 横井・近藤会員の会費免除の件
5. その他
① 30 周年積立状況について

臨時理事会・バスト会長会

1. 日 時 平成10年11月18日 13時30分より
2. 場 所 例会場
3. 理 事 遠藤一典、大地哲郎、斎藤清紀、森 宏
森 一誠、山下栄蔵 (あいうえお順)

会 長 脇田幸一

S A A 須藤保夫

幹 事 市瀬栄一

バスト会長 三澤君夫、岡本 健、森 善助、中林 靖
代々木和男、内野 晃

4. 議 題

1.次年度会長候補者選出

森 宏会員を選出

2.創立 30 周年記念式典について

三澤会員より式典の概要の説明

第6回 理 事 会

1. 日 時 平成10年12月2日 13時30分より

2. 場 所 例会場

3. 理 事 遠藤一典、大地哲郎、斎藤清紀、森 宏
森 一誠、山下栄蔵 (あいうえお順)

会 長 脇田幸一

幹 事 市瀬栄一

4. 議 題

1.ポリオ・プラス活動への寄付協力依頼 承認されました

2.ローターアクト特別出費の件

ローターアクト斉藤 晃委員長より予算案を次回の幹事会に提出して検討する

第7回 理 事 会

1. 日 時 平成11年1月6日 13時30分より

2. 場 所 例会場

3. 理 事 遠藤一典、大地哲郎、斎藤清紀
森 一誠、山下栄蔵 (あいうえお順)

会 長 脇田幸一

SAA 須藤保夫

会 計 村松勇治

幹 事 市瀬栄一

4. 議 題

1.桐蔭学園ローターアクトクラブ賛助金の増額について

2.地区からの要請があった「クラブ主導国際奉仕援助活動」への参加について

3.ネパールに「小学校を作る会」援助について

第8回 理 事 会

1. 日 時 平成11年2月3日 13時30分より

2. 場 所 例会場

3. 理 事 遠藤一典、大地哲郎、斎藤清紀、森 宏
森 一誠 (あいうえお順)

会 長 脇田幸一

SAA 須藤保夫

会 計 村松勇治

幹 事 市瀬栄一

4. 議 題

1. 女性会員勧誘の件

脇田会長

2. 来期役員選出の件

森 宏幹事

3. 創立30周年記念式典日の件

三澤準備委員長

第9回 理 事 会

1. 日 時 平成11年3月3日 13時30分より

2. 場 所 例会場

3. 理 事 遠藤一典、大地哲郎、斎藤清紀、高嶋経保、長沼 博、森 宏
森 一誠、山下栄蔵 (あいうえお順)

会 長 脇田幸一

SAA 須藤保夫

会 計 村松勇治

幹 事 市瀬栄一

4. 議 題

1. 会員増強推進委員会設立 承認される

2. 3月17日(水)移動例会の件

第10回 理 事 会

1. 日 時 平成11年4月7日 13時30分より

2. 場 所 例会場

3. 理 事 遠藤一典、大地哲郎、斎藤清紀、森 宏
森 一誠 (あいうえお順)

会 長 脇田幸一

SAA 須藤保夫

会 計 村松勇治

幹 事 市瀬栄一

4. 議 題

1.「国際ロータリーの会員増強拡大賞」に挑戦しよう

脇田会長より協力の依頼

2.「米山奨学生世話クラブ」依頼の件

承認されました

3.米山第2 記念館建設資金募集の件

米山奨学委員長に一任して募金する

4.中央アフリカ ニジェール谷垣医師医療活動支援の件

国際奉仕委員長に一任して募金する

第11回 理 事 会

1. 日 時 平成11年5月12日 13時30分より

2. 場 所 例会場

3. 理 事 大地哲郎、斎藤清紀、高嶋経保

森 一誠 (あいうえお順)

会 長 脇田幸一

SAA 須藤保夫

会 計 村松勇治

幹 事 市瀬栄一

4. 議 題

1.バルカン半島の人道的援助に対する件

2.韓国大川R.C交流ツアーの件

3.その他

第12回 理 事 会

1. 日 時 平成11年6月2日 13時30分より

2. 場 所 例会場

3. 理 事 遠藤一典、大地哲郎、斎藤清紀、長沼 博、森 宏

森 一誠、山下栄蔵 (あいうえお順)

会 長 脇田幸一

SAA 須藤保夫

幹 事 市瀬栄一

4. 議 題

1. 名誉会員継続の件
2. 無届欠席者の扱いの件
3. 韓国大川ロータリークラブ交流の件

総 会 議 事 録

平成10年12月2日 年次総会開催

理事会の前に実施しました。

次年度 1999～2000 年度理事は下記の通り選出されました。

三 澤 君 夫、中 林 靖、長 沼 博、市 瀬 栄 一
藤 津 均、脇 田 幸 一、森 宏、大 地 哲 郎
北 原 弘 文

S A A 報 告

S A A 須 藤 保 夫

副 S A A 長 根 信 康

副 S A A 濱 田 茂

会員の皆様のご協力を頂き、例会の運営を円滑に実施することができました。
又、S A A・副 S A A共にチームワークも良く無事に任務を終了することができました。

会員の皆様に感謝申し上げつつ、その結果をご報告申し上げます。

1. 例会の司会を、S A A委員が1週ごと交代で実施いたしました。
 2. 例会中は、私語がないよう心掛けましたが完全とは言えませんでした。私語も会員同士の親密さからくるもので、ある程度はやむを得ないことと考えます。残念なことは、卓話中の居眠りだと思えます。卓話者の身になれば体調不良を除けば居眠りはできません。心当たりの会員の方は気を付けましょう。
 3. テーブル席は、1～2ヶ月単位で座席指定とし各会員の友情の輪を広げる事が出来たように思います。期の途中で一部の会員の要望で禁煙席を1ヶ所設けましたが、全会員の交流を妨げる原因となりました。禁煙席の運営にはもう一工夫必要でした。
 4. 例会前及び食事中のBGM、誕生祝の全員のバースデーソングを継続しました。
 5. 食事の無駄を省くため、出欠席の事前確認をすべく出席委員会と連携をとった結果、各会員の認識は高まりましたが、効果は今一つでした。
 6. 食事は、質を落とさず暖かいものを出すべく濱田会員の協力を頂き、予算額の割にはますますではなかったかと思えます。
 7. 例会の流れは、点鐘⇒ロータリーソング⇒会長報告⇒幹事報告⇒委員会報告⇒3分間スピーチ⇒記念品の贈呈⇒食事(食事中に出席報告・スマイル報告)⇒1時より卓話⇒点鐘で終了としました。
 8. 3分間スピーチは、やや不足したかに思います。
 9. ビジター参加は、今期7名にとどまりました。これは、例会場が銀行の会議室で雰囲気が高い事、食事が出前で他のクラブより質が落ちること等々あると思います。
- (追記) 当クラブは間もなく30周年を迎えます。例会場を再検討し雰囲気の良い例会場で多くのビジター及びゲストを迎え、親睦の輪を当クラブの外にも広げて行くことを期待します。

クラブ奉仕委員会報告

委員長 高嶋 経 保

副委員長 斉 藤 宏 一

1998～1999 年度の活動計画に記載のように、クラブ奉仕委員会がクラブ運営を円滑に機能させる重要な委員会であるにもかかわらず、9 月末に体調不良で入院を余儀なくされ、長期欠席をはじめ例会を欠席がちで、その責務を全うすることができませんでした。高邁な活動計画を発表しながらの挫折で不甲斐ない一年でした。

よって具体的な報告をすることができません。

クラブ奉仕 10 の委員会の報告に委ねさせて下さい。全くといっていいほど働けなかった委員長として反省しています。

出席委員会報告

委員長 鶴 岡 武

副委員長 高 木 美 治

当年度、メイクアップ後出席率 100%は 11 名の会員が達成されました。

年間平均出席率は 93%となり、前期までの 29 年間データと対比しますと、残念ながら悪い年度のグループに入ります。

29 年間平均出席率 96.11%に対しても劣ります。

今期は I M 及び地区大会は 100%出席とせず、実際出席した会員数を計算対象に致しましたので、その辺の影響もありましたが、次年度は更なる向上を期待します。

唯、本年度は欠席届けを事前に F A X して貰い、S A A の昼食準備で無駄が省けたり又その理由のコメントもあり、休まれても会員相互の親近感は失われない様に感じました。

皆様の協力に感謝致します。

出席記録

	1	2	3	4	5
1998	例会日付	会員総数 (名誉会員を除く)	出席計算に用いた 会員数	出席又はメーク アップした会員数	百分率
7 月	1 日	48	30	27	90
	8 日	48	30	27	90
	15 日	48	30	28	93.3
	23 日	48	30	29	96.3
				合 計	369.6
8 月				平均百分率	92.4
	5 日	48	30	29	97
	12 日	休会		定款による休会	
	19 日	48	30	26	87
	26 日	48	30	28	96
9 月				合 計	280
				平均百分率	93.3
	2 日	48	30	29	97
	9 日	48	30	28	93.3
	16 日	48	30	27	90
	23 日	休会		祝日	
10 月	30 日	48	30	夜間例会	100
				合 計	380.3
				平均百分率	95.1
	7 日	47	30	29	97
	14 日	47	30	28	93.3
11 月	21 日	47	30	28	93.3
	28 日	47	30	職場見学	100
				合 計	383.6
				平均百分率	95.9
	4 日	47	30	27	90
12 月	11 日	47	30	26	87
	18 日	47	30	26	87
	25 日	47	30	30	100
				合 計	364
				平均百分率	91.0
12 月	2 日	47	30	26	87
	9 日	47	30	28	93.3
	16 日	47	30	クリスマス会	100
	23 日	休会		祝日	
	30 日	休会		定款による休会	
12 月				合 計	280.3
				平均百分率	93.4

出席記録

	1 例会日付	2 会員総数 (名誉会員を除く)	3 出席計算に用いた 会員数	4 出席又はメーク アップした会員数	5 百分率
1999					
1 月	6 日	46	30	27	90
	13 日	46	30	27	90
	20 日	46	30	27	90
	27 日	46	30	27	90
				合 計	360
				平均百分率	90
2 月	2 日	46	30	28	93
	9 日	46	30	24	100
	16 日	46	30	26	87
	23 日	46	30	28	94
				合 計	374
				平均百分率	93.5
3 月	3 日	46	30	26	87
	10 日	46	30	27	90
	17 日	46	30	ズーラシア見学	100
	23 日	46	30	ケアプラザ見学	100
	30 日	46	30	夜間例会	100
				合 計	477
				平均百分率	95.4
4 月	7 日	46	30	28	93
	14 日	46	30	30	100
	21 日	46	30	27	90
	28 日	46	30	27	90
				合 計	373
				平均百分率	93.3
5 月	5 日	休会		祝日	
	12 日	46	30	27	90
	19 日	46	30	29	97
	26 日	46	30	24	80
				合 計	267
				平均百分率	89
6 月	2 日	46	30	29	97
	9 日	46	30	24	80
	16 日	46	30	期末旅行	100
	23 日	46	30	28	93
	30 日	46	30	夜間例会	100
				合 計	470
				平均百分率	94

職業分類委員会報告

委員長 森 善 助

副委員長 土志田 猛

委員 三澤君夫、横井好明

当クラブ職業分類は開放 94、充填 27、未充填 67、シニアアクチブ 16 という状態で、充填率が大変低いので整理の必要があると考えます。クラブ拡大で、子クラブ、孫クラブが 4 クラブとなり地域もせばめられ職業分類の整理はやらなければならないと思いつつ着手できなかったことを反省して一年をすごしてしまいました。

親睦活動委員会

委員長 武 藤 泰 典

副委員長 濱 田 茂

委員 藤田孝次、村上公夫

鍋谷忠克、長根信康

関口将実、柴崎恒雄

篠 明俊

◎ 夜間例会（4回）

① 平成10年 7月29日 桜木町 「梅林」

出席者 28名

② 平成10年 9月30日 ヨコハマ・ベイシェラトンホテル 「彩龍」

出席者 34名

③ 平成11年 3月31日 青葉台 「青葉台ボール」 & 「ジャカッセ」

出席者 30名

④ 平成11年 6月30日 等々力 すし処「曾」

出席者 29名 [会員 26 名、他 3 名]

◎ クリスマス家族会

平成10年12月16日 ヨコハマ・ベイシェラトンホテル 「浜風」

出席者 48名 [会員 30 名、他 18 名]

◎ 春の家族会

平成11年 4月14日 新横浜プリンスホテル 「ボストン」
出席者 38名 [会員26名、夫人12名]

◎ 期末懇親会

平成11年 6月16日 箱根湯本ホテル 「河鹿荘」
出席者 31名

◎ ゴルフコンペ (4回)

平成10年 9月10日 相模カンツリークラブ
平成10年11月26日 鳳琳カントリークラブ
平成11年 4月 8日 富士御殿場カントリークラブ
平成11年 6月17日 太平洋クラブ御殿場コース

会員相互の親睦と友情を深めるため、楽しい行事を企画してきたつもりです。

いろいろと不手際もあり、諸先輩会員からのご指摘、お叱りもありましたが何とか無事に終了することができました。会員各位の各事業への積極的な参加、並びに、ご理解ご協力に対し、深く感謝申し上げます。

98～99年度 親睦活動委員会 会計報告

第一回夜間例会 (7月29日) @ 桜木町「梅林」

収入の部	金 額	支出の部	金 額
会費(10,000×28人)	280,000	宴会費	284,520
寄付金	10,000	コンパニオン(4人)	63,000
		心付け	8,000
合 計	290,000	合 計	355,520

差引残金 -65,520

第二回夜間例会 (9月30日) @ ヨコハマ・ベイシェラトンホテル「彩龍」

収入の部	金 額	支出の部	金 額
会費(10,000×34人)	340,000	宴会費	351,636
寄付金	10,000	コンパニオン(4人)	63,000
		心付け	8,000
合 計	350,000	合 計	422,636

差引残金 -72,636

クリスマス家族会（12月16日） @ ヨコハマ・ベイシェラトンホテル「浜風」

収入の部	金 額	支出の部	金 額
会費(30,000×30人)	900,000	宴会費	683,599
会費(10,000×18人)	180,000	プレゼント代	262,500
寄付金	30,000	ジャズバンド出演料	80,000
合 計	1,110,000	合 計	1,026,099

差引残金 83,901

第三回夜間例会（3月31日） @ 青葉台「青葉台ボール」&「ジャカッセ」

収入の部	金 額	支出の部	金 額
会費(10,000×26人)	260,000	ゲーム代(靴代含)	36,920
会費(7,000×4人)	28,000	宴会費	131,000
		商品代	109,200
合 計	288,000	合 計	277,120

差引残金 10,880

家族会（4月14日） @ 新横浜プリンスホテル「ボストン」

収入の部	金 額	支出の部	金 額
会費(10,000×26人)	260,000	宴会費	361,000
会費(8,000×12人)	96,000		
合 計	356,000	合 計	361,000

差引残金 -5,000

期末懇親会（6月16日） @ 箱根湯本「河鹿荘」

収入の部	金 額	支出の部	金 額
会費(25,000×31人)	775,000	宴会費	989,204
会費(5,000×28人)	140,000	仲居寸志	20,000
		芸者心付け	20,000
合 計	915,000	合 計	1,029,204

差引残金 -114,204

第四回夜間例会（6月30日） @ 等々力 すし処「曾」

収入の部	金 額	支出の部	金 額
会費(10,000×26人)	260,000	宴会費	274,050
		コンパニオン(3人)	51,840
		心付け	6,000
合 計	260,000	合 計	331,890
差引残金			-71,890

収入合計 3,569,000円 支出合計 3,803,469円
 親睦活動委員会 支出予算 600,000円 支出金額 234,469円

雑 誌 委 員 会 報 告

委員長 藤 田 孝 次
 副委員長 田 中 亮 二

毎月1回「ロータリーの友」誌の特徴的記事を中心に内容紹介を行い、4月雑誌月間の卓話にロータリーに関するクイズを織り込む等、会員諸兄の同誌に対する関心を何とか喚起するよう勉めました。

当初計画していた「友」を通じてのクラブフォーラム或いはクラブとしてのアクションにまでは到りませんでした。当クラブ会員の投稿と、それによる徳島北ロータリークラブ会員のゲスト訪問等思わぬ反響、成果があり大変感謝しています。今後も会員諸氏の積極的な投稿をお願いします。

いささか私見に偏した記事紹介でお耳を汚したことと思いますが、次年度雑誌委員会に期待し、お礼申し上げ活動報告とします。

会 報 委 員 会 報 告

委員長 岩 崎 恒 雄
 副委員長 川 淵 雄
 委 員 柴 崎 恒 雄

ロータリー活動の大きな目的である奉仕を始め、さまざまな活動を、地域の方々や幅広い人々に理解を戴き、行政や他団体との交流を深め奉仕活動を行える様、クラブ奉仕、社会奉仕、青少年奉仕、職業奉仕、国際奉仕等の活動を分かりやすく広報活動を行い、正しい理解と評価を受けられる様つとめました。

- 1) 地域の各組織、報道機関、ミニコミ誌等の活動
- 2) 社会奉仕委員会のチャリティーバザー等に対する活動
- 3) 青少年奉仕委員会のローターアクト、インターアクトの活動に積極的に参加
- 4) 会報48号を出す

上記の活動を通してロータリーの地域奉仕活動を幅広く広報することにより、クラブ活動の活性化をはかり、またクラブの貢献を示すことが、新しい会員を迎える一助になればと思います。

会 員 選 考 委 員 会 報 告

委 員 長 代々木 和 男
副委員長 岡 本 健
委 員 中 林 靖

クラブ挙げての増強活動にもかかわらずその努力が叶わず誠に残念でした。

次年度に期待して申し送ります。

会 員 増 強 委 員 会 報 告

委 員 長 山 下 栄 蔵
副委員長 名 倉 健 二
委 員 鵜 川 昇、矢島誠治

私たち職業人として、会員増強を進める為の環境は「長期不況増々の深刻化」と、非常に困難な時期でありましたが、特別委員会として「会員増強推進委員会」を10名の会員で組織し、会長、幹事の協力を戴き乍ら、実質増3名以上を目標に活動したのでありますが、主として、出席と費用の面で不調に終り、かねがね懸案であった、名前丈の会員等を整理することにより実質5名減の結果となってしまいました。

プログラム委員会報告

委員長 北 原 弘 文

毎回例会を楽しみにご出席いただけるようプログラムを組みましたが、いかがでしたでしょうか。

会員の皆様の多大なご協力により、各方面から多彩な顔ぶれの卓話者をご紹介いただき、本当にありがとうございました。また、今年度は多くのベテラン会員の皆様からも卓話を頂き、重ねて御礼申し上げます。

1998年～1999年度(平成10年～平成11年)

	クラブ'アッセンブリー	クラブ'アッセンブリー		クラブ'アッセンブリー		
週\月	平成10年7月	8月	9月	10月	11月	12月
第1週	1日 新会長 新幹事 就任挨拶 (定例理事会)	5日 卓話 大友緑区長 (定例理事会)	2日 卓話 渡辺青葉区長 (定例理事会)	7日 職業報告 柴崎会員 (定例理事会)	4日 卓話 GSEメンバー 荒谷和華子様 (定例理事会)	2日 クラブ'フォーラム IMでの当クラブ' のテーマ『ローター アクトについて』 (定例理事会)
第2週	8日 新年度計画 四大奉仕 委員長	12日 休会	9日 卓話 池田都筑区長	14日 卓話 米山奨学生 高 仙峰様 米山月間 内野会員	11日 卓話 林 晋哉様 (お口の健康)	9日 卓話 石川美枝子様 (横浜市のコミの 減量化・資源化 の現状と課題)
第3週	15日 職業報告 高木会員	19日 卓話 山下会員 『会員増強に ついて』	16日 卓話 斎藤(清)会員 『青少年活動 について』	21日 卓話 岡本会員 『ローター情報 について』	18日 職業報告 森 善助会員	16日 クリスマス家族会 於 横浜ベイ シェラトンホテル
第4週	22日 大須賀 洋 ガバナー 公式訪問	26日 クラブ'フォーラム 『30周年行事に ついて』 三澤会員	23日 休会	28日 職場見学 キリン横浜 ビ'アビ'レ'ッ'ジ'	25日 卓話 村上英雄様 (損害保険最新 事情)	23日 休会
第5週	29日 夜間例会 於 梅林		30日 夜間例会 於 横浜ベイ シェラトン『彩龍』			30日 休会
年間行事	ガバナー訪問 クラブ協議会	会員増強月間	新世代のため の活動月間 ゴルフ同好会	米山月間 職業奉仕月間 アジア地域大会	ローター-財団月間 インターアクト ローターアクト 年次大会 ゴルフ同好会	定期総会 クリスマス家族会

横浜緑RC年間プログラム表

週\月	平成11年1月	2月	3月	4月	5月	6月
第1週	6日 会長/幹事 新年の挨拶 年男挨拶 篠/長根会員 (定例理事会)	3日 卓話 森 宏会員 『世界理解月間 について』 (定例理事会)	3日 卓話 長沼会員 『税金の話』 (定例理事会)	7日 クラブ'フォーラム 『会員増強に関 するフォーラム』 (定例理事会)	5日 休会	2日 次年度計画に ついて 森宏次期会長 須藤次期幹事 (定例理事会)
第2週	13日 卓話 岩城隆和会員 (横浜金沢東RC) 『会員増強につ いて』	10日 卓話 宇佐美総子様 モデル稼業ウラ話	10日 卓話 大地会員 (最近の医療の 流れと介護保 険について)	14日 家族会 於 新横浜 プリンスホテル 『ホ'ストン』	12日 卓話 萩野志喜子様 (地球環境につ いて)	9日 1年を省みて クラブ奉仕 青少年奉仕 社会奉仕 各委員長
第3週	20日 卓話 前田カン様 (韓国を知ろう)	17日 卓話 五十田敏様 (低成長下にこ そ役立つCS基 礎講座)	17日 移動例会 よこはま動物園 ス'ーランア	21日 卓話 鶴岡会員 (出席について)	19日 職業報告 斎藤(清)会員 (仏の世界)	16日 期末懇親会 於 河鹿荘
第4週	27日 職業報告 山下会員	24日 クラブ'フォーラム 『30周年行事に ついて』 三澤会員	24日 職場見学 老人介護施設 ライフプラザ'新緑	28日 卓話 藤田会員 (雑誌月間につ いて)	26日 1年を省みて 職業奉仕 国際奉仕 各委員長	23日 会期終了挨拶 会長/幹事 脇田会長 市瀬幹事
第5週			31日 夜間例会 ホ'ウリング'大会 (青葉台ホ'ウル) 『JACASSE』			30日 夜間例会 於 すし処曾
年間行事	ロータリー理解 推進月間	世界理解月間 RI創立記念日 (23日) クラブ'創立 記念日 (28日)	地区大会	雑誌月間 ゴルフ同好会	地区協議会 チャリティ'サー	期末懇親会 国際大会 ゴルフ同好会

ロータリー情報委員会報告

委員長 岡 本 健
副委員長 内 野 晃

私達の日常生活の中では『聞く』という行動にいちばん多くの時間を使っているといわれています。

ロータリー活動も聞く事からを念頭に置き例会並びに年間の各行事に積極的に参加して情報の収集につとめ、活きた体験を積み重ねて行けばロータリーの知識は充分吸収出来ると思い例会を中心にいろいろ計画したのですが、志半ばにして年度変わりになった事は心残りであり反省しています。

広 報 委 員 会 報 告

委員長 石 川 輝 久
副委員長 興 山 正三郎

広報委員会は、活動計画に基き地域のミニコミ誌等に活動内容の連載を始め、社会奉仕委員会が行ったチャリティーバザー等を通して当クラブの認識を地域の方々に深める事ができた。また青少年の薬物犯罪を対象に行ったポスターの募集に関しても多数の応募があり、入選した作品を緑区内の様々な場所に掲示を行ない犯罪防止に貢献する事が出来た。

社 会 奉 仕 委 員 会 報 告

委員長 大 地 哲 郎
副委員長 加 藤 喜 夫

計画では各奉仕委員会との連携で社会奉仕活動を行う予定であったが、残念ながら計画倒れとなってしまった。

恒例の会員各位の協力による期末バザーは好評裏に行われ、売り出し開始 15 分で売り切れとなってしまった。次回社会奉仕委員の役を引き受けた際は、今回の反

省に立ち十分な計画の検討と実行を行いたい。

青少年奉仕委員会報告

委員長 斎藤 清 紀

副委員長 井上 周 輔

青少年の健全育成については、学校、家庭、地域、など社会においても様々に取り組まれています。青少年を取り巻く環境は、薬物をはじめ色々と心をむしばむ問題が多数発生しています。当ロータリークラブでは親としてロータリアンが真摯な態度と行動で示すことが大事と考えた一年でした。

当ロータリークラブは青少年奉仕活動を重視して、青少年委員会、インターアクト委員会、ローターアクト委員会との協力のもと積極的に活動してまいりましたので、それぞれの委員会からその活動内容の報告がされます。

青少年委員会報告

委員長 小林 照 二

第22回青少年指導者養成セミナーを開催

日 時 1998年11月6日（金）～8日（日）

場 所 横浜市野島青少年研修センター

テーマ 行動しよう

参加者 当クラブより

松本 淳、土橋美樹、須藤由喜恵の3名が参加しました

インターアクト委員会報告

委員長 川 淵 雄

副委員長 長 根 信 康

- I 役員研修会への参加（1998年5月10日、馬車道 相生本店にて実施）
委員会の活動は新年度を待たず、2～3ヶ月前から始まっていたと認識しました。

先ず、インターアクト役員研修会が下記の内容で実施され参加致しました。

1. 海外研修、年次大会の報告
2. 次年度インターアクトの方針について
3. 現年度活動報告／次年度活動計画説明

- II 全国 I A C 委員会アンケート結果報告を紹介

第 2580 地区インターアクト委員会編集の日本各地区 I A C 委員会アンケート（1998年3月調査）を受取り、現在日本のインターアクト活動に於いて何が問題になっているか、又どの様に運営されているか垣間見ることが出来、問題点を抜粋して当クラブにご紹介致しました。（会報 98.9.16 日に掲載）

1. 全国の I A C の提唱率の問題
2. 年間活動内容の提案
3. I A C 運営の諸問題
4. I A C への意見や感想

主に以上に関するアンケートが出されていました。

- III 31 回 I A C 年次大会に参加（1998年11月22日横浜商科大学高等学校）

1. 来賓、参加者の紹介
2. 参加高校の紹介
3. I A C 活動報告／活動計画
4. 海外研修参加者の紹介
5. 講演会（中南米の教育事情；株式会社トヨタ海外事業部長 岩本臣司殿）

主に上記の紹介、報告、発表がありました。

- IV 第 2590 地区インターアクト海外研修報告書の受領（1998年12月13日～27日実施）

1998年12月13日～27日実施され、その報告書を受領致しました。

訪問先は台湾の長営高級中学でした。

報告書を一通り目を通しましたが、共通して言える事は、大変な歓迎ぶりだった様です。逆の立場で、私達の学校で外国の生徒さんの訪問を受けた場合、あのような心温まる歓迎ができるか疑問があり、大変淋しい限りであり現代日本人が考えさせられる問題です。

- V 第 22 回青少年指導養成セミナーへの参加（1998年11月6日～8日実施）

R Y L A もインターアクトと無縁ではありません。私の会社の女子従業員 2 名

を参加させて頂きました。テーマは「行動しよう」でした。

参加者の感想文を当クラブ会報に掲載させて頂きました。(1998年12月2日版掲載)

VI ロータリアンのIAC例会への出席について

最後に、私もこの一年インターアクト委員長を仰せつかり、当クラブ提唱校の桐蔭学園高校インターアクトクラブ定例会へ出席致したく、学年主任の先生へ連絡致し、伺いましたところ、“学生は室内活動はあまり好まず、野外での活動が主”になっているのが現実だそうです。私はミニロータリーを想像していましたが宛が外れました。

意気果敢で活動的年頃であり、それも当然の事と思います。

以上ご報告致します。

ローターアクト委員会報告

委員長 斉 藤 晃
副委員長 石 川 輝 久

1. 桐蔭横浜大学ローターアクトの例会に出席し、ローターアクトの現状を把握し、その結果をIMで一部報告致しました。
2. 第28回地区協議会が98.6.21 神奈川県民ホールで行われ、続いて第29回地区年次大会が98.11.15 プライダルニューハトヤで行われました。地区ターゲットは「だっぴ」大会ターゲットは「Coming Century」で3つの大会択議がなされた。
3. IM報告第4、5分区が99.2.13 横浜そごう9F新都市ホールで行われ、当クラブは「ローターアクト」について発表致しました。
4. 地域社会を基盤とするローターアクトの設立が可能かどうかを検討課題としてあげましたが、実際のところ理想をかかげたに過ぎない結果に終わりました。

職業奉仕委員会報告

委員長 森 一 誠
副委員長 高 木 美 治

職業奉仕活動については、会員各自が理解されたと思っており、職業奉仕月間には、次の事をしました。

平成10年10月16日から18日

高知県にある、当クラブ岡本会員の工業見学「銃器工場」

平成10年10月28日 キリンビール工場見学

親睦活動委員会と協力して平成11年3月24日当クラブ大地会員が開設した緑区内の老人介護施設を見学

皆様の御協力に心より感謝申し上げます。

国際奉仕委員会報告

委員長 長 沼 博

副委員長 岩 崎 恒 雄

姉妹クラブの話し合いに韓国の大川ロータリークラブ訪問を6月に予定していましたが、次年度に先送りすることになりました。

7月22日から25日迄韓国大川ロータリークラブ訪問旅行の成果を期待致します。

世界社会奉仕委員会報告

委員長 森 宏

副委員長 井 上 周 輔

計画書に掲げた目標に沿って、努力を重ねて参りましたが、地球環境の問題、開発途上国の問題等、取り組みが難事の上に、成果が見えにくい、と言う欠点があります。

世界奉仕活動には、寄付を伴う場合が多いので、今の経済情勢の日本では年会費、及び財団の寄付以外の寄付行為は、極力避けて会員の負担を軽くする努力をしました。

横浜南ロータリークラブより“ネパールに小学校を作る会”に援助の要請があり、会員一人1,000円程度の寄付を理事会で決定し、皆さんの同意を得て、責任の一端

を果すことが出来ました。ご協力有り難うございました。

奉仕活動はロータリーの重要な任務です。飢餓救済も大切ですが、会員はもっと大切な仲間です。

ロータリー財団委員会報告

委員長 藤 津 均

副委員長 中 林 靖

1. 今年度寄付 6, 106. 6 \$ × 118 円 = 720, 580 円
内訳 R財団寄付 3, 810 \$
寄付者 48 名中 20 名
1 人当たり 85. 5 \$
バルカン半島の人道的援助 296. 6 \$
ベネファクター (2 名) 2, 000 \$
創立～1999 年 6 月末 R財団寄付 156, 000. 4 \$
(内本年度分 6, 106. 6 \$)

2. 新ベネファクター 2 名 脇田 幸一 藤津 均

3. 新マルチプル 2 1 名 森 善助

4. 現ベネファクター 10 名

三澤 君夫	森 善助	内野 晃	中林 靖
岡本 健	山下 栄蔵	遠藤 一典	斎藤 晃
脇田 幸一	藤津 均		

5. 現ポールハリスフェロー 22 名 (マルチプルを含む)

土志田 猛	遠藤 一典	井上 周輔	近藤 襄 ㊦
高嶋 経保	三澤 君夫 ㊦	森 善助 ㊦	長沼 博
中林 靖 ㊦	岡本 健	鶴川 昇 ㊦	脇田 幸一 ㊦
矢島 誠治 ㊦	横井 好明	藤津 均	代々木和男 ㊦
内野 晃 ㊦	武藤 泰典	市瀬 栄一	加藤 喜夫
斎藤 清紀	山下 栄蔵		

6. 現会員フェロー 上記以外全会員

7. 元会員及び会員夫人ポールハリスフェロー

赤柄 忠昭	遠藤 真作	古谷英太郎	浜田 勝弥
-------	-------	-------	-------

日高 信良	堀井 基章	石川 治道	岩本 正三
岩岡 正	岩崎 基正	岩崎 董正	金子 朝夫
加藤 勇夫	小林はま子	小林 敬	小林 安雄
島田 幸夫	城田 昭次	鈴木 憲一	高橋 正文
田辺 政雄	田辺しげ子	田中 克己	田辺 文衛
寺崎 誠三	戸田 裕也	戸田 修	富永 力
土志田昭吉	和田 功	鶴川 楊子	渡辺 宏未
藪島 五郎	山口 吉蔵	幸内 伸雄	黒沢 保
松田 税	三橋 栄一	森 実	森 玉江
武藤 純子	武藤 勝典	武藤 松一	武藤 義一
長瀬 正作	中村 彰宏	中山 礼子	中山恒三郎
小林 新一	田中 亮二	斉藤 宏一	
名倉 健二 (名誉会員)			

8. 元会員ベネファクター

小林 新一 名倉健二 (名誉会員)

米 山 奨 学 委 員 会 報 告

委 員 長 斉 藤 宏 一
副委員長 内 野 晃

当委員会の寄付額は当初の予想通りでした。

皆様の御協力のたまものと感謝申し上げます。

今期 1998 年 7 月～1999 年 6 月

普通寄付は 上期 $2,500 \times 48 = 120,000$ 円

下期 $2,500 \times 46 = 115,000$ 円

特別寄付は 640,000 円 20 名

新米山功労者 脇田 幸一

新米山ファンドフェロー 2 名 森 一誠 須藤 保夫

今回始めて寄付された方 なし

創立～1999 年 6 月までの累計

普通寄付は 4,013,000 円

特別寄付は 20,166,000 円 (第 20 回米山功労クラブ 98 年 12 月)

計 24,179,000 円

☆米山功労者

会 員	土志田 猛	三澤 君夫	森 善助	高嶋 経保
	内野 晃	鵜川 昇	代々木和男	近藤 襄
	横井 好明	岡本 健	中林 靖	山下 栄蔵
	矢島 誠治	脇田 幸一		
元会員	秋田 茂	岩田 正	武藤 松一	長瀬 正作
	田辺 政雄	和田 功	富永 力	飯塚金次郎
	城田 昭次	幸内 伸雄	飯田 重雄	小林 安雄
	松田 税	金子 朝夫		

☆米山準功労者

会 員	全会員
会員外	小林はま子様 内野 陽子様

1998～1999年度 会計報告書

(平成10年7月～平成11年6月)

幹 事 村松勇治
会 計 長沼 博

1. 一般会計

[収入の部]

科 目	予 算 額	決 算 額	増 減	備 考
年 会 費	11,250,000	10,442,000	-808,000	
入 会 金	200,000	0	-200,000	
雑 収 入	50,000	25,504	-24,496	
前期繰越金	2,300,000	2,726,650	426,650	
収 入 合 計	13,800,000	13,194,154	-605,846	

[支出の部]

科 目	予 算 額	決 算 額	増 減	備 考
本部会計				
人頭分担金	240,000	211,400	-28,600	
地区分担金	1,260,000	1,292,500	32,500	
地区大会分担金	200,000	192,000	-8,000	
地区大会登録料	810,000	641,000	-169,000	
I・M	490,000	244,000	-246,000	
地区協議会	204,000	187,000	-17,000	
米山奨学金	250,000	205,000	-45,000	
小 計	3,454,000	2,972,900	-481,100	
総務関係				
例 会 費	350,000	348,120	-1,880	
記 念 品 費	480,000	503,155	23,155	
通 信 費	170,000	146,191	-23,809	
消 耗 品 費	400,000	334,558	-65,442	
印 刷 費	1,200,000	1,014,118	-185,882	
事務委託費	2,200,000	2,200,000	0	
備 品 費	50,000	33,968	-16,032	
交 際 費	200,000	216,265	16,265	
雑誌文献費	200,000	191,227	-8,773	
慶 弔 費	100,000	48,720	-51,280	
予 備 費	200,000	0	-200,000	
特別積立金	200,000	0	-200,000	
小 計	5,750,000	5,036,322	-713,678	
委員会関係				
出 席	10,000	0	-10,000	
職業分類	10,000	0	-10,000	
親 睦	600,000	162,579	-437,421	
雑 誌	10,000	0	-10,000	
会 報	1,300,000	1,109,850	-190,150	
会員選考	10,000	0	-10,000	
会員増強	10,000	0	-10,000	
プログラム	200,000	139,000	-61,000	
R 情 報	10,000	0	-10,000	
S. A. A	200,000	120,000	-80,000	
広 報	100,000	63,000	-37,000	
予 備 費	50,000	0	-50,000	
小 計	2,510,000	1,594,429	-915,571	
支 出 合 計	11,714,000	9,603,651	-2,110,349	
次期繰越金	2,086,000	3,590,503	1,504,503	

2. 特別会計(食事の部)

[収入の部]

科 目	予 算 額	決 算 額	増 減	備 考
年 会 費	1,980,000	1,843,000	-137,000	
ビクター登録料	50,000	25,500	-24,500	
前期繰越金	0	-19,697	-19,697	
合 計	2,030,000	1,848,803	-181,197	

[支出の部]

科 目	予 算 額	決 算 額	増 減	備 考
例会食事代	1,730,000	1,604,138	-125,862	
予 備 費	300,000	0	-300,000	
合 計	2,030,000	1,604,138	-425,862	
次期繰越金	0	244,665	244,665	

3. 特別会計(奉仕の部)

[収入の部]

科 目	予 算 額	決 算 額	増 減	備 考
スマイル	500,000	1,026,666	526,666	
前期繰越金	1,600,000	1,557,613	-42,387	
合 計	2,100,000	2,584,279	484,279	

[支出の部]

科 目	予 算 額	決 算 額	増 減	備 考
職 業 奉 仕	50,000	50,000	0	
社 会 奉 仕	300,000	10,000	-290,000	
青 少 年	200,000	85,000	-115,000	
インターアクト	300,000	164,000	-136,000	
ローターアクト	200,000	205,000	5,000	
国 際 奉 仕	50,000	54,300	4,300	
世界社会奉仕	50,000	57,500	7,500	
ロータリー財団	50,000	24,000	-26,000	
奨学生受入支出	200,000	0	-200,000	
その他予備費	100,000	0	-100,000	
合 計	1,500,000	649,800	-850,200	
次期繰越金	600,000	1,934,479	1,334,479	

平成10年度 決算集計表

収 入			支 出		
一 般 会 計			一 般 会 計		
科 目	予 算 額	決 算 額	科 目	予 算 額	決 算 額
年 会 費	11,250,000	10,442,000	本 部 会 計	3,454,000	2,972,900
入 会 金	200,000	0	総 務 関 係	5,750,000	5,036,322
雑 収 入	50,000	25,504	委員会関係	2,510,000	1,594,429
前期繰越金	2,300,000	2,726,650	次期繰越金	2,086,000	3,590,503
計	13,800,000	13,194,154	計	13,800,000	13,194,154
特 別 会 計			特 別 会 計		
科 目	予 算 額	決 算 額	科 目	予 算 額	決 算 額
年 会 費	1,980,000	1,843,000	例会食事代	1,730,000	1,604,138
ビクター登録料	50,000	25,500	予 備 費	300,000	0
前期繰越金	0	-19,697	次期繰越金	0	244,665
計	2,030,000	1,848,803	計	2,030,000	1,848,803
スマイル他	500,000	1,026,666	奉 仕 活 動	1,200,000	649,800
前期繰越金	1,600,000	1,557,613	奨 学 生 関 係	200,000	0
			予 備 費	100,000	0
			次期繰越金	600,000	1,934,479
計	2,100,000	2,584,279	計	2,100,000	2,584,279
総 合 計	17,930,000	17,627,236	総 合 計	17,930,000	17,627,236

30周年記念事業個人積立預り

10年度積立

553,410

積立金合計

2,921,712

横浜緑ロータリークラブ組織表

1998～1999年度(平成10年～平成11年度)

1. 理事	遠藤一典	森 宏	森 一誠	長沼 博	大地哲郎	
	斎藤清紀	高嶋経保	脇田幸一	山下栄蔵		(ABC順)
2. 役員	会 長	脇田幸一	副 会 長	高嶋経保		
			(会長エレクト)			
	幹 事	市瀬栄一	副 幹 事	遠藤一典		
	S A A	須藤保夫	副 S A A	鶴岡 武		
			副 S A A	濱田 茂		
	会 計	村松勇治	副 会 計	長根信康		
				篠 明俊		
3. 委員会(◎印:委員長 ○印:副委員長)						
(A) クラブ奉仕委員会(担当理事)	◎ 高嶋経保	○ 斉藤宏一				
1. 出 席 委 員 会	◎ 鶴岡 武	○ 高木美治				
2. 職業分類委員会	◎ ① 森 善助	○ ② 土志田猛	③ 三澤君夫	④ 横井好明		
3. 親睦活動委員会	◎ 武藤泰典	○ 濱田 茂	藤田孝次	篠 明俊		
	村上公夫	長根信康	鍋谷忠克	関口将実		
	柴崎恒雄					
4. 雑 誌 委 員 会	◎ 藤田孝次	○ 田中亮二				
5. 会 報 委 員 会	◎ 岩崎恒雄	○ 川淵 雄	柴崎恒雄			
6. 会 員 選 考 委 員 会	◎ 代々木和男	○ 岡本 健	中林 靖			
7. 会 員 増 強 委 員 会	◎ 山下栄蔵	○ 名倉健二	鶴川 昇	矢島誠治		
8. プログラム委員会	◎ 北原弘文	○ 黒沼正雄				
9. ロータリー情報委員会	◎ ① 岡本 健	○ ② 名倉健二	③ 内野 晃	④ 近藤 襄		
10. 広 報 委 員 会	◎ 石川輝久	○ 興山正三郎	村上公夫			
(B) 社会奉仕委員会(担当理事)	◎ 大地哲郎	○ 加藤喜夫				
(C) 青少年奉仕委員会(担当理事)	◎ 斎藤清紀	○ 井上周輔				
1. 青 少 年 委 員 会	◎ 小林照二	○ 田中亮二				
2. インターアクト委員会	◎ 川淵 雄	○ 長根信康				
3. ローターアクト委員会	◎ 斉藤 晃	○ 石川輝久				
(D) 職業奉仕委員会(担当理事)	◎ 森 一誠	○ 高木美治				
(E) 国際奉仕委員会(担当理事)	◎ 長沼 博	○ 岩崎恒雄	村松勇治			
1. 世界社会奉仕委員会	◎ 森 宏	○ 井上周輔				
2. ロータリー財団委員会	◎ 藤津 均	○ 中林 靖				
3. 米 山 奨 学 委 員 会	◎ 斉藤宏一	○ 内野 晃				

－ 地 区 役 員 －

鶴川 昇 地区諮問委員会・地区指名委員会
須藤保夫 地区ローターアクト委員会

備 品 目 録

品 名	数 量	品 名	数 量
ロータリーの鐘とハンマー	1	卓上名札	23
国 旗	1	テーブル・クロス	12
クラブ旗	2	コーヒー・セット	40
認 証 状	1	マホー・ビン	10
スマイル・ボックス	1	R財団寄附率証明書	1
グッド・ウィル・ボックス	1	茶 棚	1
レクチャー・アンプ	1	シュガー・ポット	6
テープ・レコーダー	1	ナプキン立て	6
レコード・プレイヤー	1	調味料入れセット	6
ワイヤレス・マイク	3	クラブ小旗(さお共)	10
会員個人別ボックス	2	クラブ印(角)	1
書 庫	2	クラブ会計印	1
バナー掛(各クラブのバナー共)	2	書類棚 (W90×H180)	2
バナー立て	13	冷蔵庫 ナショナル NRB8M3	1
タ ス キ	11	スマイル・レポート入れ	12
パ ネ ル	19	スイス・カウベル	1
カ メ ラ	1	漆谷RCから点鐘台(大邱松林RC)	1
黒 板	1	〃 記念楯	1
アクリル名札板	1	RICOPY TF4060	1
FAX・コピー機 富士ゼロックス ABLE3221 No.872156	1	電気ポット	3
		2穴スクリーパンチ	1
CDプレイヤー	1	事務用回転椅子	1
応接セット 5点	1	携帯用ロータリーの鐘とハンマー	2
ワープロ NEC文豪	1	ルームエアコン(富士通)	1

充 填 ・ 未 充 填 職 業 分 類 表

正 会 員 (ACTIVE)

平成11年7月1日現在

関 連	職 業 分 類		会 員 名	勤 務 先	役 職 名
	内 科	医 分 類			
医 術	内 科	Physician			
	循 環 器 科	Circulatory			
	外 科	Surgeon			
	小 児 科	Pediatricist			
	産 婦 人 科	Obstetrician & Gynecologist			
	歯 科	Dentist			
	口 腔 外 科	Oral Cavity Surgeon			
	整 形 外 科	Orthopedic Surgeon			
	耳 鼻 咽 喉 科	Ear Nose & Throat Doctor			
	眼 科	Ophthalmologist	藤 津 均	フジ眼科歯科クリニック	院 長
	歯 科 矯 正 医	Dent Orthodontic	加 藤 喜 夫	愛誠歯科医院	院 長
	麻 酔 科	Anesthetist			
	病 院	Hospital	大 地 哲 郎	横浜新緑病院	副 理 事 長
	専 門 病 院	Specialty Hospital	脇 田 幸 一	脇田産婦人科医院	院 長
施 設 及 び 病 院	薬 局	Pharmacy			
保 険 代 理 業	保 険 業	Insurance Agency	北 原 弘 文	ソニー生命保険㈱	ファイナンシャルプランナー
衛 生	ク リ ー ニ ン グ 店	Cleaning Shop			
衣 料	洋 品 店	Cotton Goods			
	洋 服 店	Clothing			
	呉 服 店	Japanese Cloth Shop	岩 崎 恒 雄	㈱岩崎呉服店	代 表 取 締 役

関連	職業分類			会員名	勤務先	役職名
	レ스토랑	分	類			
食品及び嗜好品	菓子店	店	Restaurant			
	菓子店	店	Cake Shop			
	酒	店	Alcoholic Store			
日用品	スーパー	店	Super Market			
	文具	店	Stationery			
	幼稚園	園	Kindergarten			
教育	高等学校	校	Senior High School			
	短期大学	学	Sumier College			
	私立塾	塾	Praivate School			
ビジネス	弁護士	士	Lawyer			
	税理士	士	Tax Service	長沼博	長沼博税理士事務所	所長
	司法書士	士	Judiciary Scribner Service			
宗教	経営相談	談	Business Counseling Service	須藤保夫	(有)須藤企画	代表取締役
	測量士	士	Surveyor			
	仏教	教	Buddhism	齊藤清紀	福聚院	副住職
運輸及び倉庫業	神道	道	Shintoism			
	運送業	業	Trucking Service			
	倉庫業	業	Storage			
機械及び装置	送風機	製造	Blower Mfg	武藤泰典	(株)武藤電機	代表取締役
	建設機械	械	Construction Machinery			
	機械工具	具	Machine & Tool			
精密機械	非鉄金属製	錬	Nonferrous Metals Refining	鶴岡武	アジア物性材料(株)	代表取締役
	精密機械	械	Precision Machinery	鍋谷忠克	(株)リード	社長

職 業 分 類		会 員 名	勤 務 先	役 職 名
関 連	分 類			
鉄 及 び 金 属	板 金 工 作			
	金 型 製 造			
自 動 車	自 動 車 販 売			
	自 動 車 整 備	小林 照二	㈱ブラザーモーターズ	代 表 取 締 役
	カ ー デ ザ イ ン	柴崎 恒雄	㈱シバックス	取 締 役 会 長
電 気 及 び 通 信	電 気 設 備	村松 勇治	㈱ジェス	代 表 取 締 役
	電 話 事 業	村上 公夫	NTT東日本中山支店	支 店 長
	情 報 通 信			
電 子 機 器	電 子 試 験 機	川淵 雄	新電子工業㈱	代 表 取 締 役
	書 籍 販 売			
印 刷 及 び 広 告	広 告 業			
	刷 業			
	印 刷			
美 容 及 び 整 形	新 聞 配 付			
	看 板 広 告			
	理 容			
ホ テ ル 及 び 観 光	美 容 院			
	ホ テ ル	濱田 茂	㈱パストラル	専 務 取 締 役
	旅 行 幹 旋 業			
建 設	建 設 請 負 業			
	木 造 建 築			
	ビ ル 建 築			
	土 木 工 事			

関	職 業 分 類				会 員 名	勤 務 先	役 職 名
	連	工 事 分	業 分	類			
建 設	舗 装	工 事		Pave Construction			
	建 築	リフォーム		Reform ot Building	市瀬 栄一	㈱不二建	代 表 取 締 役
	電 気	工 事		Electric Construction			
	水 道	工 事		Waterpipe Construction			
	鉄 道	建 設		Railroad Construction			
	設 備	工 事		Equipment Construction			
	型 枠	工 事		Concrete Support Construction	興山 正三郎	㈱興山建設	代 表 取 締 役
	塗 装	工 事		Painting Construction			
	建 築	設 計		Architect			
	造 園	業		Landscape Service	藤田 孝次	㈱三橋緑化興業	会 長
建 築 材 料 及 び 装 飾 内 装	推 進	工 事		Watersupply & Disposal Construction	長根 信康	㈱ナガネ	代 表 取 締 役 社 長
	建 築	材 料		Building Material			
	生 コ ン	配 布		Concrete Distributing			
	家 具 室 内 装 飾			Upholstering	森 一誠	(有)宮地	代 表 取 締 役
	ガ ス ・ プ ロ パ ン			Gas and Propan Distributing			
不 動 産	不 動 産	業		Real Estate Agency	齋藤 晃	㈱八廣	代 表 取 締 役
	ビ ル	賃 貸		Building Renting			
	土 地	賃 貸		Proprietary Renting			
農 林 及 び 園 芸	農 業			Agricuiture			
	木 材	販 売		Lumber Distributing			
畜 産	飼 料			Feeds			
	獣 医			Veterinary Surgeon			

職 業 分 類		会 員 名	勤 務 先	役 職 名
関 連	分 類			
金 融	都市銀行	高 木 美 治	さくら銀行青葉台支店	支 店 長
	地方銀行	篠 明 俊	横浜銀行中山支店	支 店 長
	外国為替銀行			
	信用金庫			
ス ポ ー ツ 及 ビ レ クリ エ ー シ ョ ン	ゴルフ練習場			
	ペットショップ			
	警備保障	石 川 輝 久	㈱ジェイ・アム・エディサービス	顧 問

シニア・アクチブ会員 (SENIOR ACTIVE)

元 職 業 分 類	会 員 名	勤 務 先	役 職 名
高 等 学 校	鶴川 昇	桐蔭学園	理 事 長
不 動 産 賃 貸	森 善 助	モリ・ランド	代 表 者
ボ ー リ ン グ 場	三澤 君夫	三澤(合資)	代 表 者
銃 器	岡本 健	ミロク機械㈱	代 表 取 締 役
建 設 機 械	山下 栄蔵	山下工業㈱	取 締 役 社 長
外 科 医	内野 晃	内野医院	院 長
建 設 材 料	代々木 和男	(有)代々木商店	取 締 役 社 長
アスファルト製品	中 林 靖	日本舗材㈱	取 締 役 社 長
ビ ル 賃 貸	矢島 誠治	㈱矢島地所㈱	代 表 取 締 役
情 報 通 信	横井 好明	横井通信工業㈱	代 表 取 締 役
産 婦 人 科 医	近藤 襄	近藤病院	院 長
不 動 産 業	土志田 猛	㈱岩本不動産商会	代 表 取 締 役
ビ ル 賃 貸	遠藤 一典	(有)藤栄	代 表 取 締 役
看 板 広 告	高嶋 経保	横浜標識㈱	代 表 取 締 役
建 築 設 計	井上 周輔	誠和技建工業㈱	代 表 取 締 役
鉄 道 建 設	森 宏	森建設㈱	代 表 取 締 役

開 放 94 充 填 27
未 充 填 67
シニアアクチブ会員 16

